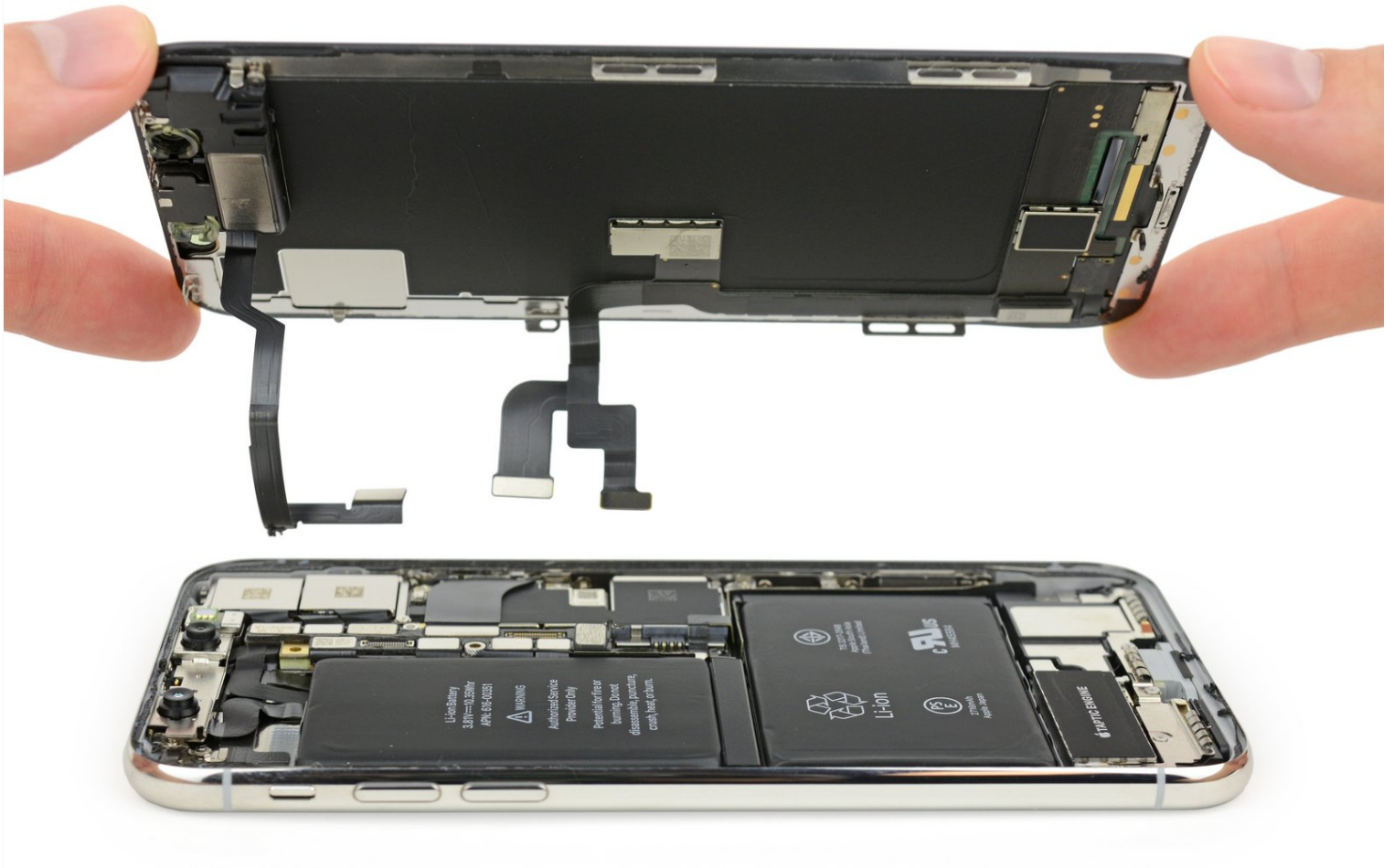




iPhone X スクリーンの交換

スクリーンがひび割れてしまいましたか？ タッチスクリーンが反応しませんか？...

作成者: Jeff Suovanen



はじめに

スクリーンがひび割れてしまいましたか？タッチスクリーンが反応しませんか？OLEDディスプレイが故障しましたか？このガイドを使って[新しいOLEDスクリーンとデジタイザを交換](#)してiPhone Xの機能を回復させましょう。新しいスクリーンに交換すると、[[iPhone X Won't Turn On#Section_Cause_6_Bad_display|電源が入らない]ように見える場合でも、改善が見られます。

ご注意ディスプレイ裏側に搭載されたイヤホンスピーカーとセンサーアセンブリは工場出荷時のiPhoneでペア製造されています。そのため、古いディスプレイから新しいディスプレイに移植しなければなりません。生体識別機能の一つである[Face ID](#)のセキュリティ用フロッドイルミネーターも含まれます。もしこのパーツにダメージが入ったり、別のものに交換すると、Face ID機能を失ってしまいます。作業中、このコンポーネントにダメージを与えないよう特別に注意を払ってください。ダメージが入ってしまうと、AppleでしかFace ID機能を回復できません。

ご注意: スクリーンの交換後、iPhoneの明るさ自動調節機能が反応しない場合は、お持ちのiPhoneが[iOS 12](#)にアップデートされているか確認してください。スクリーンを交換した後はTrue Toneは機能しません。オリジナルのAppleスクリーンを再装着した後も同様です。



ツール:

- [P2 Pentalobe Screwdriver iPhone](#) (1)
- [iOpener](#) (1)
- [iFixit Opening Picks \(Set of 6\)](#) (1)
- [Suction Handle](#) (1)
- [Anti-Clamp](#) (1)
- [Spudger](#) (1)
- [Tweezers](#) (1)
- [Tri-point Y000 Screwdriver](#) (1)



部品:

- [iPhone X Screen](#) (1)
- [iPhone X Display Assembly Adhesive](#) (1)
- [iPhone X Digitizer Cable Connector Foam Pads](#) (1)
- [NuGlas Tempered Glass Screen Protector for iPhone X/XS/11 Pro](#) (1)
- [iPhone X Used Screen](#) (1)

手順 1 — ペンタローブネジ



⚠ 作業開始前にiPhoneのバッテリーを25%以下まで放電してください。充電されたりリチウムイオンバッテリーは、穴が空いた場合、引火や爆発の恐れがあります。

- 分解を始める前に、iPhoneの電源を切ってください。
- iPhone下部底面に留められた2本の6.9mmロングタイプのペンタローブネジを取り外します。

✦ ネジが潰れたり、ダメージが入った場合は、[交換してください](#)。

i iPhoneのディスプレイを開口することにより、ディスプレイの耐水シールが破損します。このステップを進める前に[交換用のシール](#)を用意しておくか、耐水シールの交換をしないで再組み立てする場合は液体の浸水に注意してください。

手順 2 — ひび割れた箇所にテープを貼ります



- iPhoneのスクリーンにひび割れが入っている場合は状態が広がらないよう、また修理作業中怪我をしないようにガラス表面にテープを貼ります。
- iPhoneディスプレイ上に透明の梱包用テープを貼り付けます。ディスプレイ表面全体を覆うようにしてください。
- ① ガラスの破片を覆い、ディスプレイを持ち上げた際に構造を保つことができます。

⚠ 修理作業中は、ガラスの破片から目を保護するため保護メガネを装着してください。

- ひび割れの程度がひどく、次の手順で使用する吸盤カップがうまく装着できない場合は、3番目の画像のように強力なガムテープを真ん中で折り曲げて、ハンドル代わりに利用します。これで吸盤カップと同じようにディスプレイを持ち上げます。

手順 3 — ひび割れた画面の上にテープを貼る



① iPhoneの画面が割れてしまった場合、ガラスをテーピングで覆えば、さらなる破損の広がりを抑えることができます。また修理中に発生するアクシデントを防ぐことができます。

- iPhoneの画面全体に、透明な梱包用テープを重ね合わせます。

⚠ 作業中、飛散する可能性のあるガラスから目を保護するため、安全眼鏡を着用してください。

- 次の手順でうまく吸盤が装着しない場合は、強力なテープ（ガムテープなど）を持ち手に折って、代わりにスクリーンを持ち上げてみてください。

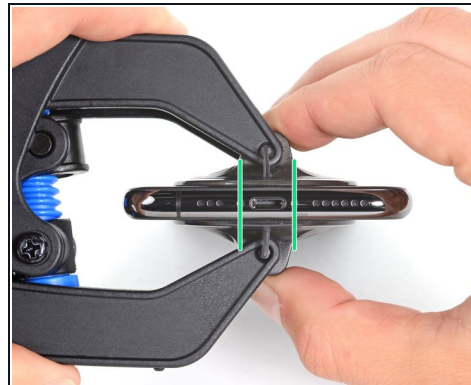
① それでもうまくいかない場合は、吸盤カップに瞬間接着剤をつけて、スクリーン上に貼り付けてください。

手順 4 — リバースクランプの使用方法



- ① 次の3つの手順では、デバイスの開講作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。
- ① リバースクランプの詳細な使用方法については、[こちらのガイド](#)をご覧ください。
- 青いハンドルをヒンジ側に引くと、リバースクランプのアームを解除します。
 - 吸盤は、スクリーンのホームボタンのすぐ上に、前面と背面側に1つずつ装着します。
 - 吸盤カップ両側をしっかりと締め合わせると、標的の場所にしっかりと装着させることができます。
- ① デバイスの表面が滑りやすく、リバースクランプがしっかりと装着できない場合は、[梱包用テープ](#)で表面を覆ってから、強いグリップを作ることができます。

手順 5



- 青いハンドルをヒンジ側に引くと、リバースクランのアームを解除します。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
- 吸盤の位置が合っていることを確認してください。位置がずれてきた場合は、吸盤を少し緩めてアームの位置を合わせてください。

手順 6



- [iOpenerを温めて](#)、Anti-Clampのアームに通します。

① [ドライヤー](#)や[ヒートガン](#)、ホットプレートなどを使うこともできますが、極端に熱くするとディスプレイや内蔵バッテリーにダメージを与えることがありますので、注意してください。

- iOpenerを半分に折って、iPhoneの下端に重ねます。

- 1分ほど待つと接着剤が剥がれ、隙間ができます。

- スクリーンそのものではなく、スクリーンとプラスチックベゼルの下にオープニングピックを挿入します。

① リバースクランプで十分な隙間ができない場合は、その部分にさらに熱を加えて、ハンドルを時計回りに半回転させてください。

⚠ 一度に半回転以上回さず、1分ほど待ってからさらに半回転、回します。時間をかけてリバースクランプを回していきます。

- 次の3つの手順をスキップしてください。

手順 7



① iPhoneの下側端を温めるとディスプレイに留められた圧着材を柔らかくでき、開口作業がスムーズになります。

- ヘアドライヤー、ヒートガンまたは[iOpener を準備して](#)iPhoneの下側端に約1分間あてます。するとディスプレイ下の圧着材が柔らかくなります。

手順 8



- シングルタイプの吸盤カップを使用している場合は、デバイスの下側端に吸盤を取り付けます。カーブしているガラス部分の上は避けてください。

手順 9



- 吸盤カップを同じ強さでしっかりと引き上げます。スクリーンとフレームの間にわずかな隙間を作るための圧力で引いてください。
 - スクリーンのプラスチックベゼルの下の際間にオープニングピックを挿入します。スクリーン自体には挿入しないでください。
- ① ディスプレイに固定された防水用圧着材は大変強度があります。まずこの一番最初に隙間を作る作業でかなりの力を要します。隙間が作れない場合は、さらに熱を当ててスクリーンを上下に揺さぶることで圧着材を緩めてください。

手順 10



- 開口ピックを下側左コーナー周辺までスライドしてからiPhoneの左側上部に向けて移動します。ディスプレイに固定された圧着材を切り込みながら進んでください。

⚠ ピックを3mm以上差し込むと、内部部品が破損する恐れがありますので、ご注意ください。

手順 11 — スクリーンの情報



⚠ iPhoneの右端には、デリケートなケーブルがあります。ここにピックを差し込まないでください。ケーブルが破損することがあります。

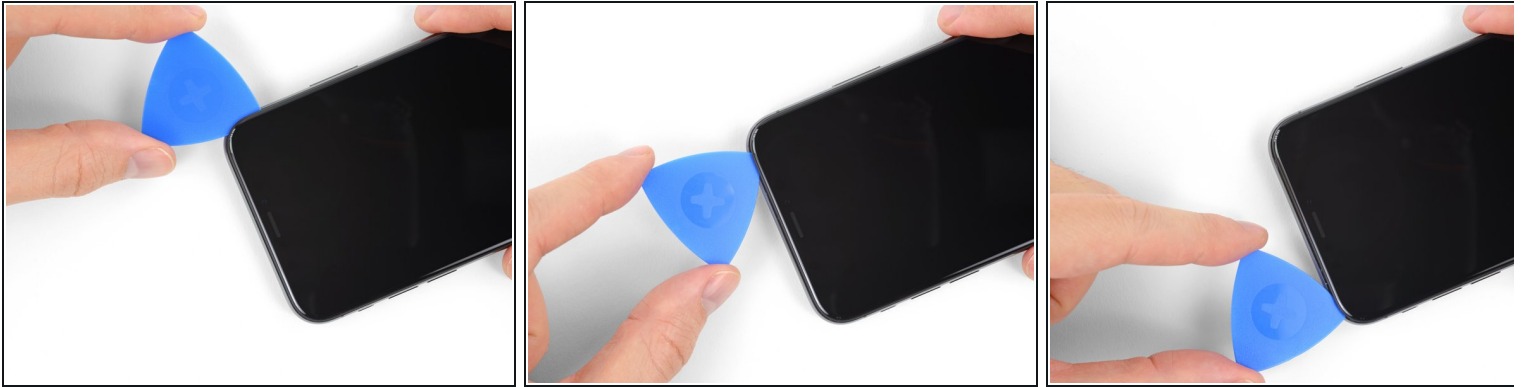
手順 12



- iPhoneの下側端に開口ピックを再挿入してください。今度は右側に向けてスライドして圧着材を切り込みます。

⚠ オープニングピックを3mm以上差し込まないでください。ディスプレイケーブルを破損することがあります。

手順 13



① ディスプレイ上部端はクリップと接着剤で固定されています。

- ディスプレイをLighting ポートの方に揺らしながら引っ張り、ディスプレイ上部のコーナー周辺に開口ピックを差し込んでスライドします。

⚠ 作業に力を入れると、クリップが壊れてしまうことがあります。慎重に作業を進めてください。

⚠ 3mm以上オープニングピックを差し込まないでください。フロントパネルのセンサーアレイが破損することがあります。

- 反対側のコーナーにも開口ピックをスライドして、ディスプレイを固定している残りの接着剤を全て切開します。

手順 14



- 吸盤カップ上の小さな持ち手(ノブ)を引いて、フロントパネルから外します。

手順 15



- iPhoneの左側からディスプレイを持ち上げて開口します。（本のページをめくるように）

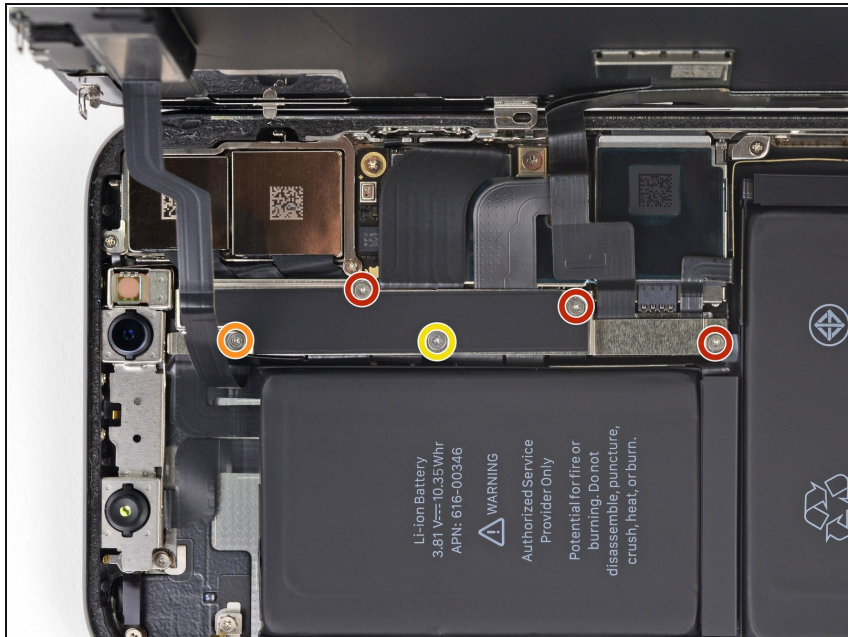
⚠ まだディスプレイを完全に外さないでください。幾つかの壊れやすいリボンケーブルが基板と繋がったままです。

⚠ 画像のように、フレームからディスプレイが外れて、デバイスに引っかかっているか確認してください。

- ディスプレイを衝立のようなものに立て掛けて固定してください。

★ 再組み立ての際は、ディスプレイを元の位置にもどします。上部端に沿って付けられたクリップを揃えて、上部からはめていきます。簡単に元の位置に入らない場合は、ディスプレイ周辺に付けられたクリップの状態が曲がっていないか確認してください

手順 16 — ディスプレイアセンブリ



- 基板のコンネクター用ブラケットを固定している次の長さのY000ネジを5本外します。

- 1.1 mm ネジ—3本

- 3.1 mmネジ—1本

- 3.7 mmネジ—1本

- ① この作業中、[各ネジの詳細と管理](#)を徹底してください。再組み立てする際に、正しい位置に各ネジを装着しなければiPhoneにダメージを与えてしまいます。

手順 17

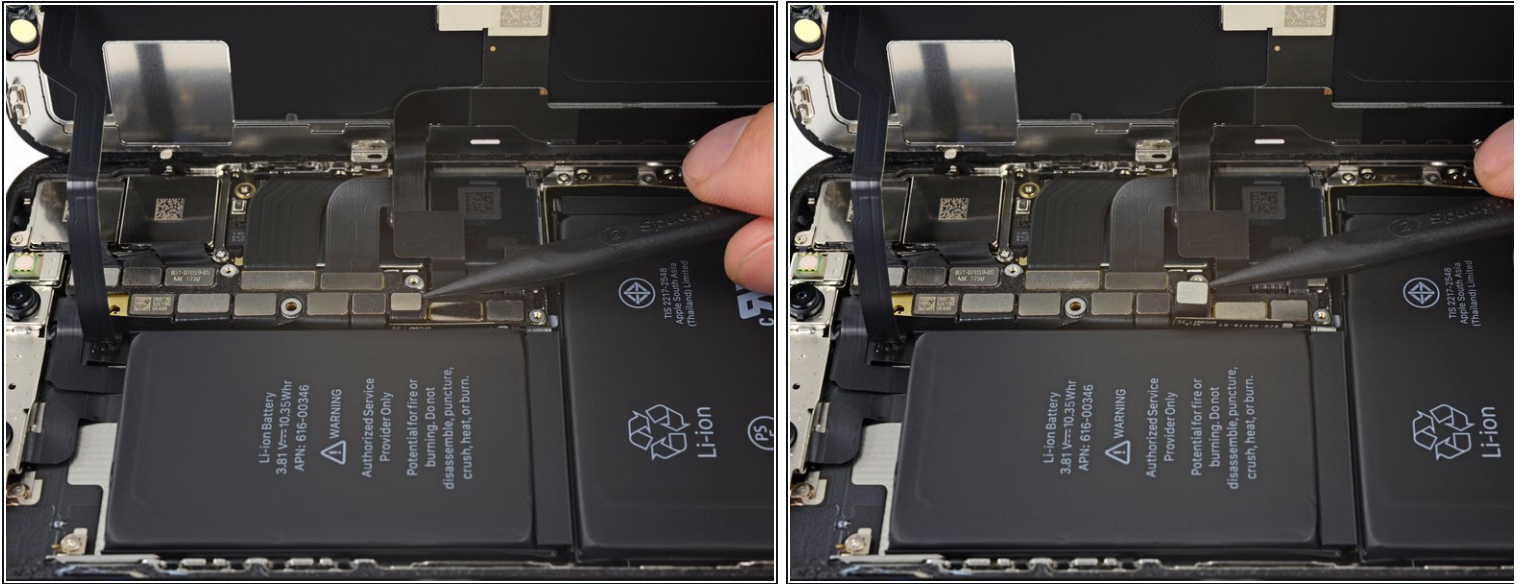


- ブラケットを外します。

- ① ブラケットは軽く接着剤で固定されています。丁寧にかつ、しっかりと持ち上げて外してください。

- ✦ 再組み立ての際には、この作業中iPhoneの電源を入れて全ての機能の点検ができます。点検が終わったら、ディスプレイを接着剤で固定してください。次の組み立て作業に進む前に、iPhoneの電源をかならず切ってください。

手順 18



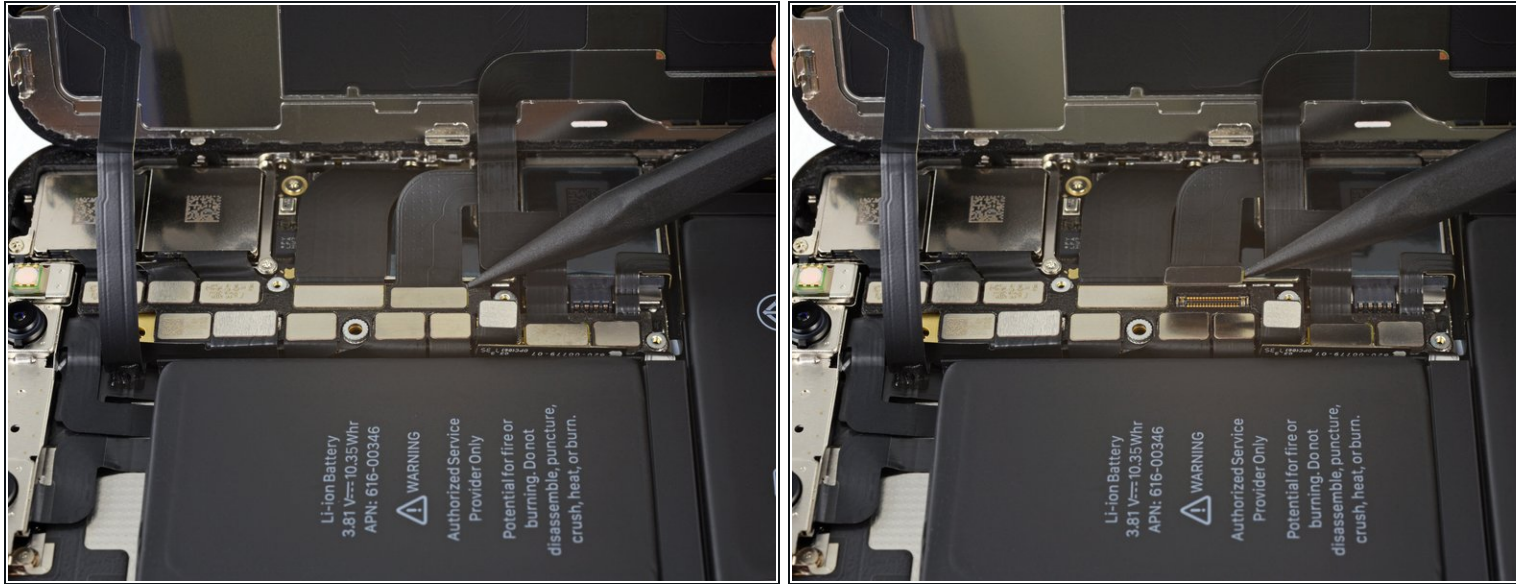
- スパッジャーの先端や汚れのない指の先を使って、バッテリーコネクタを基板上のソケットから持ち上げて外します。
- ① このソケット周辺にあるブラックのシリコン製シールと他の基板コネクタにダメージを与えないようにご注意ください。これらのシールには特別な防水防塵機能が加えられているためです。
- 作業中、アクシデントでソケットと接触してしまい電源が誤って入らないように、コネクタを基板から少し曲げ、接触しない位置に固定します。

手順 19



- スパッジャーの先端や爪の先を使って、フロントパネルセンサーアセンブリのコンネクターの接続を外します。

手順 20



- スパッジャーの先端や爪の先を使って、OLEDパネル用ケーブルコネクターの接続を外します。
- ★ このようなプレスコネクターを再装着するには、丁寧にコネクターの片側を揃えて押し込み固定してから、反対側のコネクターも同様に押し込みます。コネクターの中央を押さえないでください。コネクターを誤った位置に装着してしまうとピンが曲がってしまい、永続的なダメージに繋がります。

手順 21



- スパジャラーの先端を使って、デジタイザのケーブルコネクタをソケットから引き上げて外します。
 - ★ このコネクタは奥に取り付けられているため、再装着の作業が少し困難です。時間をかけてゆっくりと、装着する位置を揃えながら指で優しく押し込んでください。まず最初に片側から、そして反対側のコネクタを装着します。きちんと装着されたか指に伝わるクリック感でわかるはずです。
 - ★ 修理後、タッチスクリーンに支障がある場合はバッテリーの接続を外してこのデジタイザのケーブルコネクタを一度外して再点検してください。きちんと装着されているか、ソケット部分に埃や汚れがないか確認してください。

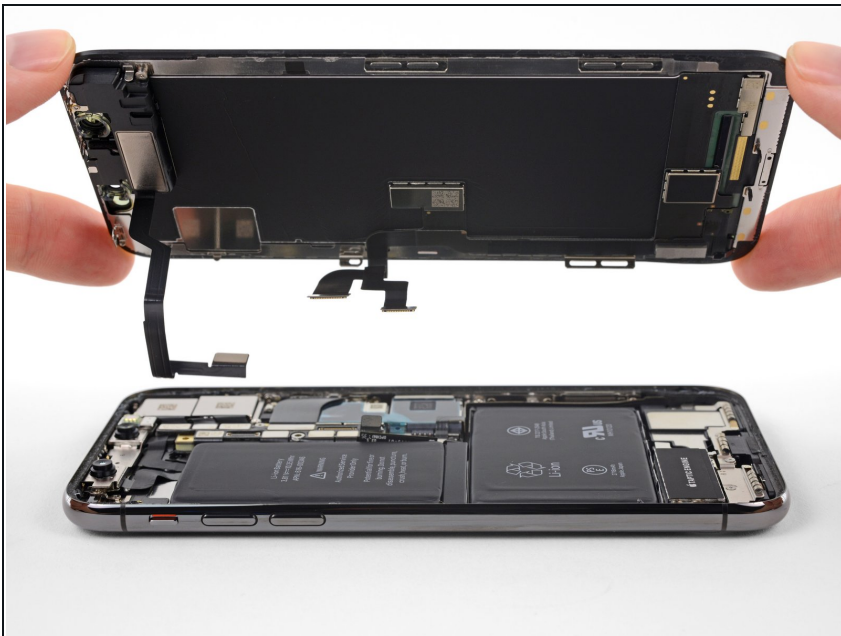
手順 22



① フロントパネルのセンサーアセンブリのフレックスケーブルは軽く接着剤で留められています。

- 接着剤が外れるまでゆっくりとケーブルを持ち上げます。

手順 23



- ディスプレイアセンブリを取り外します。

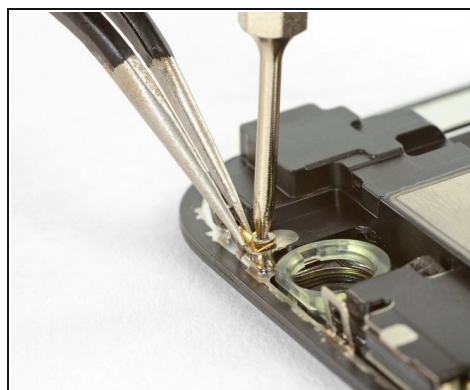
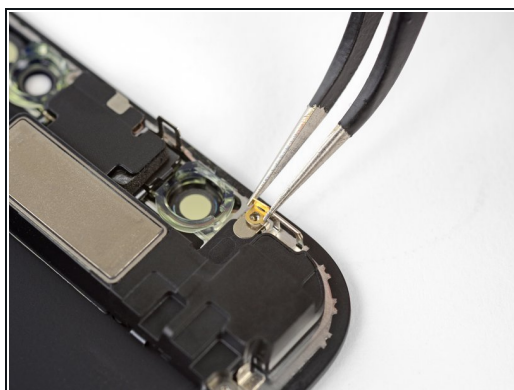
★ 再組み立ての際、交換用の防水用圧着剤をディスプレイ周辺端に装着する場合はここで作業を一旦中止してください。

手順 24 — イヤピースピーカーとフロントセンサーアセンブリ



- 1.2 mm Y000ネジを赤外線カメラポート付近にあるディスプレイアセンブリの裏側から取り出します。

手順 25



- 取り出したネジの下に小さなメタルの接地クリップがついています。もしネジを外した時に一緒に取り出せなかった場合は、ここで外してください。
- ✦ 再組み立ての際、このクリップを画像のような位置で取り付けます。ネジを留める間、クリップは正しい位置に装着してください。

手順 26



- スピーカー/センサーアセンブリを固定しているY000 ネジを2本外します。
- 1.6 mmネジー1本
- 1.3 mmネジー1本

手順 27



① イヤピーススピーカーは軽く接着剤で固定されています。

- スパッジャーを使って、スピーカーアセンブリ上部端の下から差し込み、ゆっくりと持ち上げて裏返します。それからディスプレイ上部端から離します。

⚠ スピーカーはとても薄いフレックスケーブルで接続された状態です。ケーブルを切断したり引っ張らないようにご注意ください。

手順 28



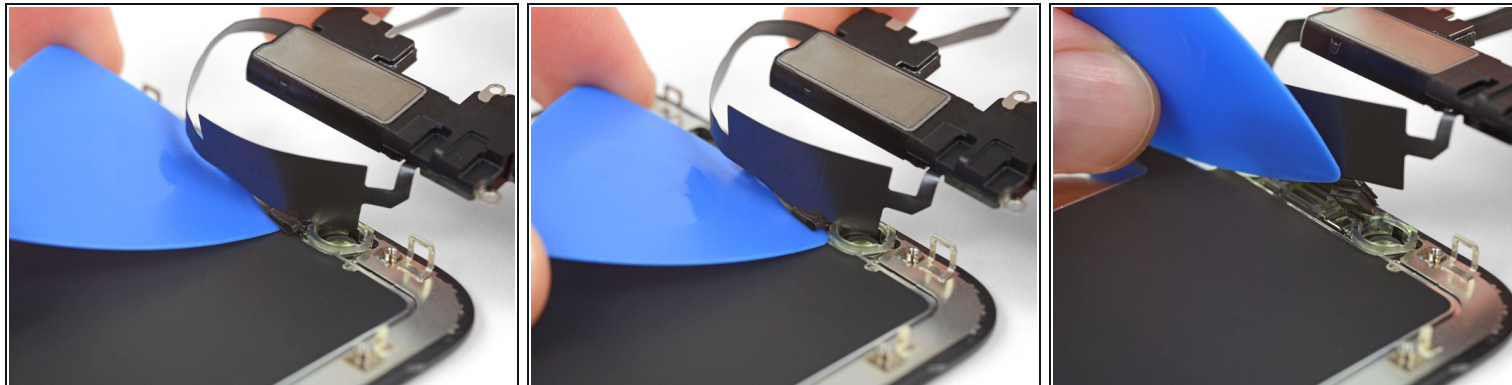
- ヘアドライヤーやヒートガン、もしくは[iOpener](#)を使って、ディスプレイフロント側の上部に約1分間熱をあてます。センサーを固定するための接着剤を柔らかくします。

手順 29



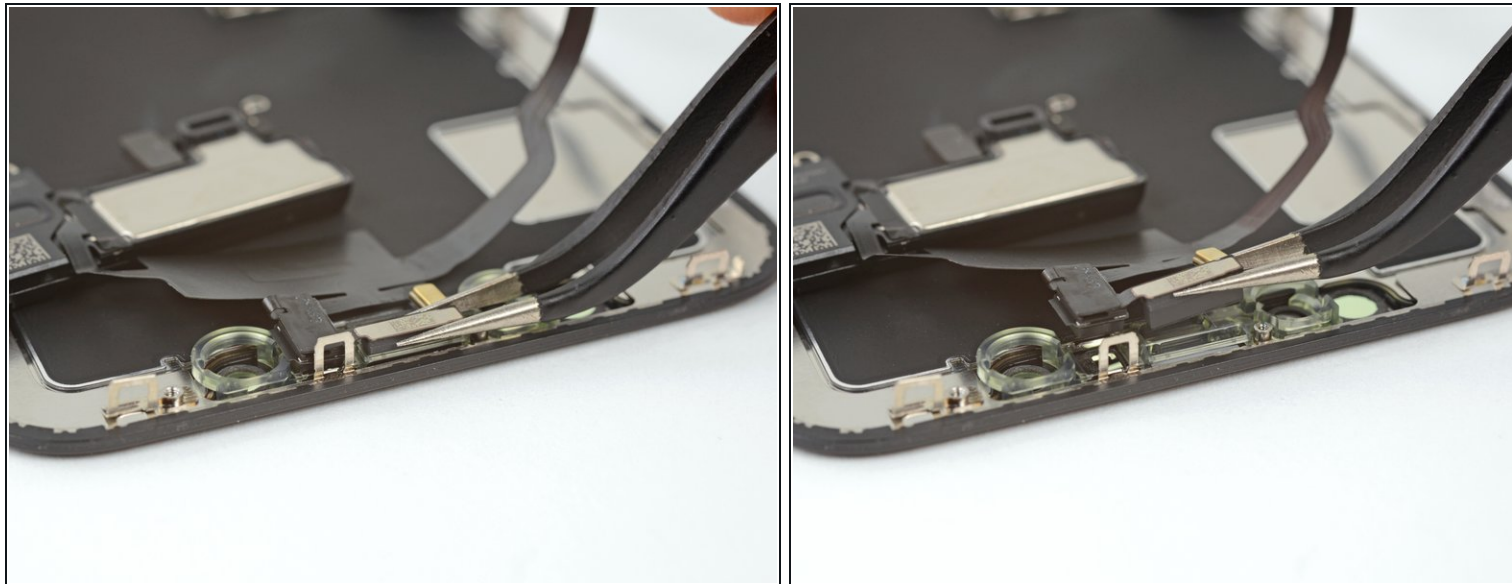
- スパッジャーの平面側先端をマイクのすぐ下にあるフレックスケーブルの底に丁寧に差し込みます。それからスライドします。
- マイクを外すため、スパッジャーをひねりながら丁寧にスライドさせて下さい。フレックスケーブルを引っ張ったり、ダメージを与えないように注意してください。
- 必要に応じてフロントパネルの切り込みからマイクを外すため、スパッジャーの先端を使用してください。

手順 30



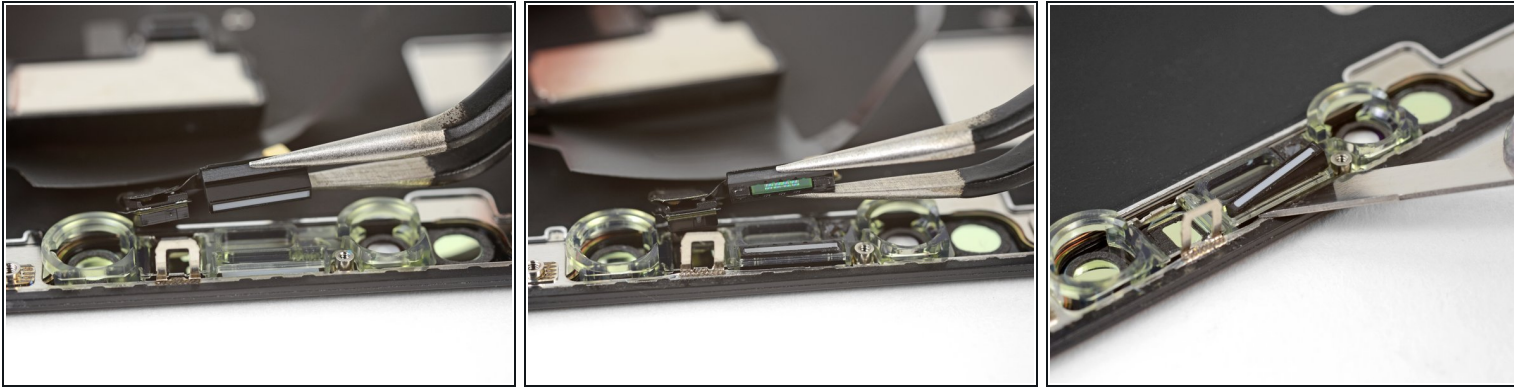
- 左側から右側へ作業を移します。フレックスケーブル下に差し込んだ開口ピックを近接センサーと投光イルミネーター(フラッドライト)モジュールの下までスライドします。
 - モジュールを外すため、丁寧に揺らしながら持ち上げて、フロントパネルのくぼみから取り出します。
- ① モジュールにアクセスしやすいように、スピーカーを持ち上げて邪魔にならない位置で固定すると便利です。作業中、薄いフレックスケーブルを引っ張らないようご注意ください。

手順 31



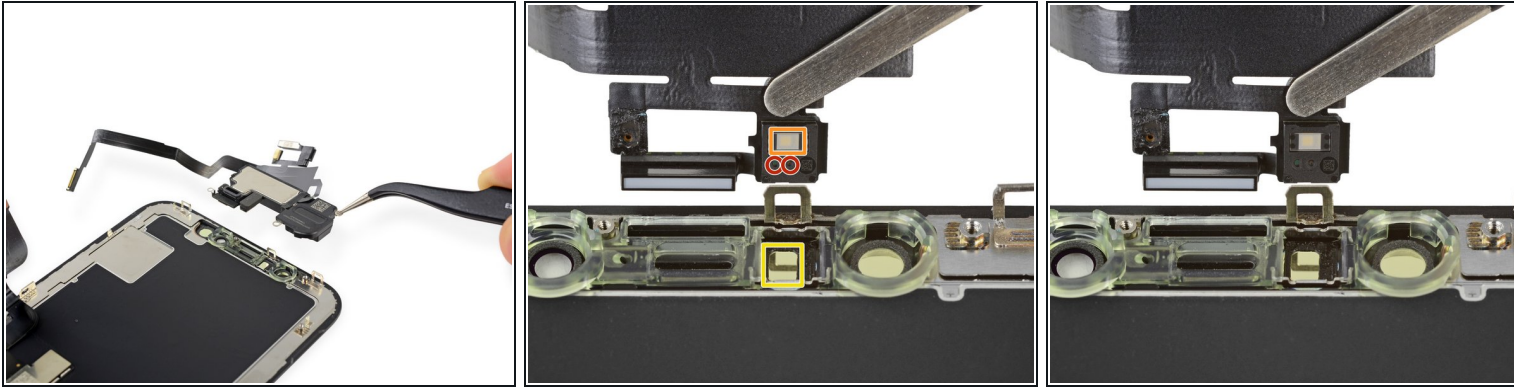
- ピンセットを使って環境光センサーを掴み、ディスプレイのくぼみから持ち上げてください。
- ① とても薄いフレックスケーブルによってセンサーアセンブリの残りの部分とセンサーが繋がっています。ケーブルを引っ張ったり、ダメージを与えないようご注意ください。

手順 32



- 1番目の画像のように、環境光センサー全体を問題なく外せたら次の手順に進んでください。
- 2番目の画像のように、白い拡散ストリップが装着されていたりディスプレイの中に埋め込まれている場合、薄いカッターやこじ開けツールを使って上部先端に沿ってこのストリップを丁寧に取り出します。作業前に熱をあてて温めておくと作業がしやすくなります。
- ☑ 再組み立ての際は、まず拡散ストリップをディスプレイに再装着します。正しい方向、位置に装着されているか確認してください。1番目の画像がストリップの正面側、3番目の画像が裏側のものです。
- ☑ 拡散ストリップ上部に環境光センサーを取り付けます。イヤピース/センサーアセンブリ用のネジを装着する間、センサーを装着する位置で固定します。ネジが締まったらセンサーも固定されて通常通り稼働します。

手順 33



- イヤピースピーカーとフロントセンサーアセンブリを取り出します。

☒ 再組み立ての際は、これらのコンポーネントを含む黒色のプラスチック製モジュールの装着位置を確認してください。

- 近接センサー
- 投光イルミネーター
- これらのコンポーネントは接着剤によって固定されていないため、モジュールはきちんと装着してください。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手くいきませんか？私たちの[アンサーコミュニティ](#)をチェックしてトラブルシューットの参照にしてください。

もしあなたが修理のトラブルを抱えていて、デバイスの買い替えを考えているなら、[iPhone Xのバックマーケット\(整備済み製品\)](#)もチェックしてみてください。彼らは安心の保証付きの中古・整備済デバイスを提供しています。